

無憂樹

令和6年8月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530



お盆

梅雨明けをして夏本番ですね。連日の猛暑により熱中症で病院に搬送される方が過去最高になっていいるそうです。皆様ご自愛ください。七月・八月はお盆になります。お盆について白川晴頭先生が書かれていたお話を抜粋して紹介します。『世間一般に知られるお盆は、先祖の霊をお迎えする期間を指す場合が多いでしょう。お盆の時期に先祖を浄土からこの世にお迎えして、家で一緒にひと



時を過ごし、冥福をお祈りして供養する行事です。地域によってお盆の期間は異なりますが、旧暦（太陰暦）によるか新暦（太陽暦）によるかによって、七月十五日前後か八月十五日前後かに大きく分かれています。その理由は、明治時代に旧暦から新暦に変更になったとき、従来通り旧暦の七月に行っていた地域と新暦の八月に変更した地域があり、天皇が居住される東京近郊の関東地域では旧暦に従い、それに対して

農作業の繁忙期である七月を避けて新暦の八月に変更した地域が、全国に多くなったことが考えられます。

ところで、浄土真宗ではお盆に先祖の霊が帰ってくるという考え方はしません。親鸞聖人が「讚阿弥陀仏偈和讚」に

安楽浄土にいたるひと

五濁悪世にかへりては

釈迦牟尼仏のごとくにて

利益衆生はきはもなし

と讃えられるように、浄土に往生して仏になられた亡き人が還相の菩薩として再びこの世に還ってきて、お釈迦さまと同じように私たちが救うはたらきをし続けておられると受けとめています。したがって、そのは

たらきは、お盆の期間に限定されるというものではありません、また血縁関係のご先祖に限らず、亡き人すべてを含みます。ただし、私たちがいつもご先祖や亡き人のはたらきに感謝しているかといえ、どうでしょう。むしろ忘れた日々を送っていることが多いのではないのでしょうか。お盆はふだん、ご先祖や亡き人のはたらきを忘れがちな私たちが、それを思い出す大きな節目として捉えることができます。』お盆には帰省をされてご家族皆様で過ごす方も多いかもしれませんが、ぜひ仏さまの前に座らせて頂き、仏縁を結ぶ期間にしてください。